

## 令和6年度学校評価【改善アクション案】

自己評価（教職員）及び外部アンケート（児童と保護者）から満足度の低い項目について、校内で「改善策」を検討しました。

No	課題項目	組織	改善策(具体的に何をどのように)
1	学校教育目標「まいにちをはげみ じぶんの得意をのばせる子」 いきいき…進んであいさつ こつこつ…友達との協力、運動、そうじ わくわく…人の話を聞ける	教務部・全職員	<p>＜まいにちをはげみ＞ ・以下、あいさつ、清掃、話の聞き方／新川10の行動の活用 ＜じぶんの得意をのばせる＞ ・教科別新聞ファイルを活用する。 ＜いきいき＞ ・教師が明るく進んであいさつし、見本となる。 ・あいさつの場を意図的に提供する。 ＜こつこつ＞ ・廊下の黒ずみを修繕する。 ・掃除の仕方を教えたり、掃除用具を整えたりする。 ＜わくわく＞ ・声に抑揚や間の取り方など、教師側が話し方を工夫する。 ・教師の指示や話は短く分かりやすく。 ・相づちやリアクションの仕方を教える。 ・話の聞き方の掲示物を作成する。 ＜朝の地域でのクリーン運動の場を提供するなど、一人ひとりに活躍の場を与える＞ ＜新聞記事等全校配信の優秀カードについて、特にたくさん書けている児童を校長賞としてたたえるなど、ほめる機会を増やす＞</p>
2	いじめや不登校の防止や対応について	生徒指導部	<p>・県の豊かな人間関係づくり実践プログラム「ピアサポート」を活用する。 「ピアサポート」の取り組みを通して、人との関わり方を身に付ける。 ・特別支援コーディネーターと連携し、各学年に応じた SST(ソーシャルスキルトレーニング)の授業を展開する。 ・懇談会の機会を増やす。 →テーマを設定した話し合いの場を設け、保護者同士の関係を築けるようにする。 ※テーマ…いじめ、人間関係づくり、家の手伝いなど</p>
3	視野の広さについて【新聞学習(コラム配信、読み取りワークシート、図書室の教科別新聞ファイル等)の活用力の向上】	教務部	<p>・新聞コラム配信の利活用率を上げる。 ・教科別新聞専用ファイルをつくる。 ・読み取りワークシートの設置から配信へ。 ・学年便り等で新聞の取り組みや成果を発信する。</p>
4	発表意欲の向上について	研修部	<p>＜児童＞ A 発表の仕方を工夫する。 　挙手の際、「ぜひ発表したい」→「パー」、「発表したいが不安がある」→「チョキ」、「発表する 自信はない」→「グー」など、児童の意思を示すことで安心して挙手する環境を作る。 B 発表前、児童に自信をつける。 　机間指導の際、発表前に児童の答えに○をつけたり、声かけをしたりする。 C 学級の雰囲気作り 　学級経営の中で「間違ってもいい」という安心感を与える。 ＜教員＞ A 授業の工夫、教材研究 　日常生活に根ざした教材づくりや児童が「発表したい！」と思うような発問をする。 　人前で発表することに抵抗を感じる児童も発表したいと思えるよう、パワーポイントやオクリンクなどのICTを使った学習活動を行う。 B ペアトークやグループでの話し合い活動を増やす。 　話し合い活動を通して、自分の考えに自信を持たせたり、理解を深めさせたりする。 　発表の「型」を提示する。 　発表に慣れるまで、基本の型を覚えさせる。</p>
5	その他 自由記述より (特に記載の多い内容)	教務部	<p>・HPの更新頻度を上げられるよう職員分担などを見直す。 ・来年度以降も交通安全教室や防犯教室など体験的に学べる機会を設け、安全面への意識の向上を図る。</p>